

きず安否確認が困難、訪問時の駐車スペースや個々に風呂がなく入浴サービスが不可、車椅子が入れないエレベータ、住民登録のない保険者のため、現状がわからない東京のケアマネージャーの介護計画に介護サービス提供者の困惑、孤独から長時間の話し相手をする。うつ症状、同居の認知症など多くの問題を抱えた報告があった。

- Q：温泉健康体操教室は、予算削減されているのか。
- A：事業での雇用の促進と自己の健康保持のために、12月の提案を一旦取り下げ、インスタクター、アシスタント報償費の据置、参加者の負担金の据置をした。
- Q：孤独死の実態は。
- A：サービスを中断した後亡くなったケースが数件ある。老人の独居者が60人位いる。住民登録がないため介護事業のサービスを受けているかわからない。
- Q：社会福祉協議会への2、800万円の補助金の根拠は。
- A：局長以下4名の人件費、ボランティアの助成、社協事業の補助で基金積立金を200万円減額した。
- Q：子宮頸がん予防接種は

中学1年生が対象とあるが、2、3年生は。

- A：2、3年生も対象に検討し、保護者の意見を聞き取り組みたい。
- Q：食生活改善推進協議会補助金18万円は妥当か。年間活動は。
- A：全国組織、食生活の推進を目的に66名が食育について活動、配食ボランティアとして社協から交通費、県から3千円、120万円の収入ほとんどが交通費。
- Q：健康倶楽部湯沢が受託しているお達者クラブの実態は。
- A：中里の瑞祥庵を会場に中里地区の老人に閉じこもり予防、元氣確認等に介護保険事業から予算を計上して運営している。
- Q：精神的な障がい起因する自殺、実態はどうなっているのか。福祉介護班、国保保健班との連携は。
- A：課単独での対応は困難。訪問事業者との情報交換の会を重ね、班同士の連携。自殺問題は課全体として考えていく。

健康福祉課：介護保険特別会計

時特例基金繰入金1、800万円の目的は。

- A：21年3月議会で基金を創設、3%の介護報酬の引き上げに伴う介護保険料の上昇を抑制するため、基金を取崩し介護保険に繰り入れている。その他に年間50万円の予算枠は保険者の周知するためのリーフレット代に当てている。
- Q：居宅介護サービス給付費の減額の理由をどう捕らえているか。
- A：予算ベースは過去3年間の実績からサービス給付費を組んでいる。19年度1億5、600万円、20年度が1億5、800万円、21年度1億6、300万円見込みで年々給付費は増えている。

健康福祉課：国民健康保険特別会計

げられないから、一般会計繰入れも止むを得ない。支払準備基金9、000万円に戻した。国の通達によると3か月分となると1億円以上の基金が必要だから基金をもう少し積み必要がある。保険料の平準化した運用を言われている。21年度に2万円アップになつての苦情は聞いてないが、事件の影響と税額アップの影響はあると思う。

- Q：徴収率が現年度の2・2%落ち所得も落ちている中で、財政サイドから6・1%の保険料のアップのほか一般会計から繰り入れてくれるのか。支払準備基金は1ヶ月4、000万円の4か月分の基金が必要である。他に高額医療費の事件の影響はあったか。
- A：保険料を6・1%以上あ

健康福祉課：病院事業会計

下二安いときがあったがその後も続いているのか。

- A：医療費は湯沢町は低いと認識している。湯沢病院では、ジェネリック錠を使用して、医療費抑制に努めている。
- Q：普通徴収の割合が高い理由と徴収率を上げた理由は。
- A：普通徴収の割合が高いとは認識していない。また昨年の実績に基づいた徴収率を算出している。
- Q：町は75歳以上の人間ドックはない。国の制度では75歳以上の人間ドックはあるようだが町はどう考えているか。
- A：人間ドックをしなくとも町の基本検診内容から足りている。
- Q：利用料金制で病院の経営状態が見えてこないが、入院、通院の患者数から前年と変わらなと思うが、経営状況はどうなっているか。
- A：1月末の病院管理協議会の決算によると従来どおりトントンであった。

産業観光課：一般会計